

コース特徴

プレス加工に関する基礎～応用知識を、実技実習を交え深く学べるコースです。その他、検査実習、測定実習、製図実習などの豊富な実習を通して、実践的な理解を深めます。



日数	教科名	教科の内容
①	開講式	訓練の意義
	社会人としての心構え	社会人としてのルール遵守、社会人の基本 ～あいさつ、お辞儀の種類、身だしなみ
2	職業能力基礎講習	ビジネスマナーとは、第一印象の重要性、ビジネスマナー5原則、名刺交換、電話応対
3		仕事の進め方、職務における報連相、コミュニケーションツール、ビジネス文書、ビジネスEメール
4		対人対応力とは、話す力、聴く力、合意の形成、クレーム対応
5		印象管理トレーニング、問題解決技法、セルフマネジメント、論理的構成、デリバリー技能
6	安全衛生	安全な仕事の基本、職場の安全衛生管理、職場の規則とルール、安全な仕事の進め方、モノの取り扱いで心掛けること、日常生活で気を付けること、健康に仕事をするには
7	コンプライアンス	コンプライアンスとその必要性、社内と社外の規範遵守、企業倫理と社会的規範、CSR(企業の社会的責任)、個人情報保護法
8	タイムマネジメント	時間の大切さを知る、時間のムダを無くして生産性を上げる、時間管理、評価と信用そして信頼へ、デッドラインを絶対に守る
9	問題解決思考	全体を見るときは、課題を発見する、解決策を考える、実行する、提案の仕方
10	金属加工技術	金属材料と加工、熱処理、プレス機械加工、切削加工、溶接と切断、表面処理、塗装
11	プレス加工技術	金属プレス加工について、プレス加工の種類と加工原理、プレス加工と金型
12		プレス加工と金型、プレス加工と品質、プレス機械と周辺設備、プレス作業と安全
⑬	プレス機械実技実習	始業点検、金型段取り、プレス加工、寸法測定、安全の重要性について、危険予知の重要性について
14	機械を構成する部品	機械とは、回転・動力を伝達する部品、回転・動力伝達を円滑にする部品、機械構成部品を締結する部品、その他の機械構成部品
15	表面処理概論	表面処理とは、各種表面処理、環境・衛生
⑯	製図実習	図面を描く意味、図面の構成、立体を図面に表す方法、補助となる図法、寸法記入のルール、寸法公差、はめあい公差、表面粗さ、幾何公差、溶接と金属材料
17	品質管理・品質保証	品質管理と品質保証、品質管理の基本、工程管理の基本、品質の検証、品質の改善
⑱	測定実習（基礎）	測定工具を使う前に、ノギスの使い方、外側マイクロメーターの使い方、ハイトゲージの使い方、測定工具のまとめ
⑲	測定実習（応用）	ブロックゲージの使い方、シリンダーゲージの使い方、測定工具のまとめ
⑳	検査実習	検査、検査の種類、限度見本、切削加工と検査、プレス加工と検査、溶接と検査、めっき・塗装と検査、樹脂加工と検査、TS16949と検査
21	TPM（生産保全）	TPMの基礎知識、TPM活動と生産効率化、自主保全の7つのステップ
22	トヨタ生産方式	なぜトヨタ生産方式を学ぶのか、トヨタ生産方式の基本、ジャスト・イン・タイム（トヨタ生産方式の二本柱）、自動化（トヨタ生産方式の二本柱）、改善の基本

※赤字は実習科目 / 数字に○がついている科目は対面受講

⑬ 会場：ARMS研修センター/ 受講者準備物：作業着（長袖長ズボン）、安全靴、軍手、ヘルメット（つば付き帽子でも可）